

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	11	1	基本事務事業名	人権啓発地方委託事業	事務事業名	人権啓発活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成29年6月28日		
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	大塚 清	シート作成者名	小山 大介				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年
	主要施策		(2)あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。									
	事業の活動内容	今年度											
人権講演会の開催や、人権擁護委員と連携・協力し啓発活動を行うことによって、市民の人権意識高揚を図ります。													
具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 人権講演会を市内4中学校で開催します。(対象:各校生徒・教員・市職員・市民)													
② 「人権の花運動」として、小学校へ花苗を贈呈し、栽培を通して命の大切さや相手への思いやりの気持ちを育ませ、豊かな人権感覚を身に付けてもらう運動を実施します。													
③ 中学生によるブラカード隊・小学生による鼓笛隊を先頭に、人権擁護委員・市職員・教員が啓発物品を配布する人権啓発パレードを実施します。													
④ 植物の栽培・収穫を通じていのちの循環を体験してもらう「いのちのリレープロジェクト」を、人権擁護委員と共に幼稚園・認定こども園で実施します。													
⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
	人権講演会	市内4中学校にて開催 開催数・参加人数		回・人	目標		4回・1,500人	4回・1,500人	4回・1,500人	4回・1,500人			
					実績		4回・1,250人	4回・1,030人					
	人権の花運動	開催数・参加人数		回・鉢	目標		1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢		1回・150鉢		
					実績		1回・150鉢	1回・150鉢					
	人権パレード	年1回開催		回	目標		1回	1回	1回		1回		
実績						1回	1回						
DO													
予算費目	会 計	款				項	目		備考				
		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算									
直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
	県支出金	945 千円		801 千円		750 千円							
	地方債	千円		千円		千円							
	その他特定財源	千円		千円		千円							
	一般財源	35 千円		49 千円		162 千円							
	計(A)	980 千円		850 千円		912 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,905 千円	0.450 人	2,619 千円	0.400 人	2,372 千円						
	臨時・嘱託職種												
	臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,885 千円		3,469 千円		3,284 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価		
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	人権とは「人が人らしく生きていくために社会により認められている権利」であり、何からも犯されることなく尊重されなければなりません。人権意識を醸成させるこの事業の実施は、社会にとって必要不可欠であり、継続して	○ 少ない	● 大きい			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい										
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある										
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない										
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない										
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる					各事業後のアンケートでは、9割超の参加者が「人権に関する意識が深まった」と回答しており、事業の有効性があらわれています。今後も効果的な実施方法を模索していきます。	○ いえない	● いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる						○ いえない	● いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない						○ する	● しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる						○ できない	● できる			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている						講演会の参加者数、特に市民のそれが伸び悩む傾向にあります。今後はより効果的な広報手段を検討し、多くの方に参加してもらえよう努めるとともに、講師選択などにおいっそうの努力をいたします。	○ 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない							○ あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している							○ 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している							● 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当					各事業の実施手段・内容については、それが適切か・効果的か否かを常に見直していかなければならないと考えます。	○ 高い	● 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない						○ できる	● できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない						○ ある	● ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない						○ ある	● ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
	今後の方向性	4	4	3	3	A	4	4	4	4	A			
		○ 拡大・充実	○ 現状維持	● 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等				
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
		講演会や人権パレード等、一般参加者を対象とした事業については、啓発効果を大きくするため、より多くの方に参加をしていただけるように努めていかなければならないと考えます。また、予算が年々縮小傾向にあるため、コストに見合う効果的な啓発事業について、その内容を絶えず見直していかなければなりません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 人権啓発は、地道な活動であります。人としての根幹をなすものです。限られた予算で公私の選択にも悩まれることと思いますが、関係部局とも協議をし、心・感性に訴え続けてください。ただ、市民・職員等への参加になお、努力をお願いします。							
改革案と実行計画	市ホームページ・ケーブルテレビの活用等、よりよい周知・広報の方法を考えていきます。加えて、現行の事業内容に限らず、違う形で啓発活動を行うことができるかを模索していきます。													
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	11	基本事務事業名	人権擁護委員活動事業	事務事業名	人権擁護委員活動事務	公的関与	4	シート作成日	平成29年6月28日	
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	大塚 清	シート作成者名	小山 大介		
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)	6. 共に生き、共に築くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)	(1)人権尊重社会の確立			<input type="radio"/> 1 該当	平成 年 ~ 平成 年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策	(1)人権教育・啓発推進体制の整備			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等	人権擁護委員法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民								
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的								
			今年度	阿波市内に特設人権相談所を開設し、市民等の人権を遺漏なく守ります。植物の栽培・収穫のサイクルを通してののちの循環を体感してもらう「いのちのリレープロジェクト」を幼稚園・小学校で進めるとともに、市内量販店等での街頭啓発を行うなど、幅広い年代を対象とする人権啓発を推進してゆきます							
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なものを5つまで)										
	① 特設人権相談について、毎月、市内3会場で3回実施します(市役所本庁1回、社会福祉協議会施設2回)。										
	② 植物の栽培・収穫のサイクルを通じてののちの循環を体感してもらう「いのちのリレープロジェクト」を、幼稚園・小学校で実施します。										
	③ 街頭啓発を市内量販店等で実施。啓発物品を配布しながら、人権啓発を行います。										
	④ 広報車にて啓発広報を行ったり、文字放送・広報紙記事等を活用して啓発活動を推進し、市民の人権意識の高揚を図ります。										
	⑤										
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
	特設人権相談の解説	毎月市内3箇所で開催(平成29年度より、それ以前は目2箇所)	回	目標	50回	50回	50回	50回			
				実績	37回	37回					
				目標							
				実績							
				目標							
				実績							
DO	予算費目	会 計	款	項	目	備考					
		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算							
	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円						
		県支出金	千円	千円	千円						
		地方債	千円	千円	千円						
		その他特定財源	千円	千円	千円						
		一般財源	350 千円	350 千円	350 千円						
	計(A)	350 千円	350 千円	350 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人 2,905 千円	0.450 人 2,619 千円	0.400 人 2,372 千円						
		臨時・嘱託職種									
臨時・嘱託工数・経費		人 0 千円	人 0 千円	人 0 千円							
全体事業費(A+B)	3,255 千円	2,969 千円	2,722 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	人権擁護委員の設置は法律で義務付けられております。また、擁護委員は、市民の基本的人権が侵犯されたときは救済支援等を行うなど、人権思想の普及・高揚に努めています。人権擁護委員の活動について、支援する	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	人権擁護委員活動を支援することにより、市民の基本的人権が守られ、人権意識の高揚が促進されて、安心できる住みよいまちづくりが実現します。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	定期的に特設人権相談を開設していること、ボランティアで学校・幼稚園関係・社会福祉施設等へ訪問し、積極的に人権意識の普及高揚活動を行っていること等を鑑みて、目標は達成できていると考えます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	人権擁護委員10名とも、阿波市全体を対象に効率的に活動しています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	平成21年1月に徳島地方法務局管内の徳島地区協議会に加盟し、広く他地域の活動を見聞したこと、また活動拠点となる事務所を提供したこともあり、自主的かつ積極的に、阿波市全体の人権意識の普及・高揚のための活動を行っています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	思考錯誤しながら、自主的にさまざまな活動を実施しています。人権啓発活動のネットワーク体制の強化を図るため、人権擁護委員活動に対し必要に応じた連携強化・支援がなされるべきと考えます。					限られた予算の中で、色々と工夫を凝らした人権啓発活動が行われていることに感謝します。今後とも連携を密にし、活動の総括もしながら継続した取り組みをしてください。、						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	3	基本事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	公的関与	6	シート作成日	平成29年7月3日	
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	大塚 清		シート作成者名	村山 猛之		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進		<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	主要施策		(2)コミュニティ施設の整備		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		公会堂・老人ルーム条例				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	各行事・集会のため、会場を提供することで生活を健全で豊かなものとし、社会福祉の増進を図ります。また、災害時の自主避難場所として提供し、市民の生命を守ります。								
			今年度	各公会堂・老人ルームにおいては、老朽化が進んでおり、破損個所が多く見られます。各行事・自主避難時に安全に使用出来るよう年次的に修繕を行います。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 各施設を訪問・点検すると共に、管理人に修繕箇所等の報告依頼し、修繕箇所を設定します。												
	② 破損個所の早期発見。												
	③ 施錠等の施設管理。												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
						目標	300回・2,000人	300回・2,000人	300回・2,000人				
						実績	208回・1,640人	195回・1560					
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計		款		項		目		備考			
			平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	4,572 千円		4,190 千円		3,454 千円						
		計(A)	4,572 千円		4,190 千円		3,454 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	0.100 人	593 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		4,572 千円		4,190 千円		4,047 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい				<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい				地域の会合や人が交流できる場所を提供することで生活を健全で豊かなものとし社会福祉の増進を図ることが出来るとともに、災害時の身近な自主避難場所として必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある							<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない							<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない							<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				修繕により、使用していなかった公会堂を近隣の市民が清掃し色々な会合に使用する事例があり、今後、他の利用の少ない施設についても修繕することで利用後向上が図れます。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input checked="" type="radio"/> いえない	<input type="radio"/> いえる							<input checked="" type="radio"/> いえない	<input type="radio"/> いえる		
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない							<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない		
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる							<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				施設が多いため、十分とはいえないが、年次的に修繕し市民の交流と地域の会合の場を提供します。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない							<input type="radio"/> あまり上がっていない				
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している							<input type="radio"/> 概ね達成している				
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している							<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当				予算にあわせ年次的に実施しています。ただ今後の公共施設の管理運営については、財政面や市民の行政参加の視点から自主管理運営の検討も必要です。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない							<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない							<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない							<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 2	達成度 3	効率性 3	総合評価 C	必要性 4	有効性 2	達成度 4	効率性 4	総合評価 C		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	施設が多いのですが、老朽化している施設も多く、全館で安全に使用出来るよう破損個所の修繕が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	安全に使用出来るよう年次的に修繕していきます。破損個所を早めに発見し修繕費用を少なくします。使用度を上げるために地域活性化事業等を利用し、講座等開催し市民の利用できる機会を確保します。					公共施設の設置目的の検証が図られようとしています。再度地域の利用状況並びに市民要望の把握に努めて下さい。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	4	基本事務事業名	隣保館管理運営事業	事務事業名	隣保館管理運営事業	公的関与	6	シート作成日	平成29年6月22日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	大塚 清		シート作成者名	上田 尚子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3)隣保館事業の充実				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、地域社会に密着し各種相談事業を総合的にを行い、人権問題に対する活動、解決をすることを目的とします。									
				今年度	住民交流の拠点となるコミュニティセンターとして住民相互の理解と交流が深まることを目的とします。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各種相談事業(職業相談・人権相談・生活相談)													
	② 地域交流事業(各種講座)													
	③ 啓発・広報活動(館だより発行・パネル展)													
	④ 施設利用の充実													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	施設利用	年間延べ人数		人	目標		28,200	28,000	26,000					
					実績		25,553	25,236						
	地域交流事業	年間延べ人数		人	目標		12,100	12,000	12,000					
					実績		8,874	14,470						
	広報活動	年間実施回数		回	目標		12	12	12					
実績						12	12							
DO	予算費目	会 計		款		項		目		備考				
			平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算									
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	10,522 千円		11,634 千円		11,634 千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	22 千円		17 千円		17 千円							
		一般財源	6,712 千円		5,926 千円		8,526 千円							
		計(A)	17,256 千円		17,577 千円		20,177 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	5,809 千円	1.000 人	5,819 千円	1.000 人	5,930 千円						
		臨時・嘱託職種	隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長							
		臨時・嘱託工数・経費	9.000 人	16,200 千円	7.500 人	13,500 千円	7.500 人	13,500 千円						
	全体事業費(A+B)		39,265 千円		36,896 千円		39,607 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	○ 少ない	● 大きい	○ 少ない	● 大きい	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	隣保館事業では相談事業が主軸になっています。行政等連携を持ちながらいつでも相談に応じる体制が必要です。これから地域に密着したコミュニティセンターとして必要性は大きいです。	○ 少ない	● 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	地域住民(特に高齢者)のコミュニティの場として活用されています。	○ いえない	● いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	地域交流事業の講座、館祭りの充実により参加者人数が増えています。	○ 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない		○ あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している		○ 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	● 十分達成している		● 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	ぱあわーあつぷ、NPO、小学校等講演などに利用することにより人権啓発を行えています。	○ 高い	● 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等				
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止					
	当面の課題	隣保館の役割として地域住民の福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる地域社会に密着したコミュニティセンターとして広く活用できるよう来館しやすい館づくりを目指します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	現在高齢者の参加は充実しています。若い世代の人たちにも隣保館の利用、参加できるよう魅力的な講座の開設に取り組みます。					地域住民の要望に応えると共に、地域の方々の連帯・交流の場として、今後も努力してまいります。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	11	5	基本事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	公的関与	6	シート作成日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	大塚 清		シート作成者名	村山 猛之	
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり		実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年
	主要施策		(2)良質・安全な住宅建設及び改修の促進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	住宅新築資金等貸付借入者									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	貸付金全ての償還								
			今年度	償還率向上のための徴収強化								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 滞納徴収(催告書発送・電話催告・訪問徴収)											
	② 消し込み(徴収原簿・償還台帳)											
	③ 補助金申請(補助金申請事務)											
	④ 実績報告書作成											
	⑤ 貸付事業償還状況調書作成											
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標		
	貸付事業償還額	住宅新築資金等償還額(現年度)		円	目標		1,100,000	756,936				
					実績		756,936	3,230,228				
	貸付事業償還額	住宅新築資金等償還額(過年度)		円	目標		3,500,000	3,500,000	3500000			
					実績		2,951,627	5,389,421				
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	款				項				目	備考
			平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算							
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円					
		県支出金	1,634 千円		1,651 千円		1,148 千円					
		地方債	千円		千円		千円					
		その他特定財源	1,719 千円		688 千円		688 千円					
		一般財源	2,200 千円		885 千円		691 千円					
		計(A)	5,553 千円		3,224 千円		2,527 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	0.900 人	5,337 千円				
		臨時・嘱託職種										
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円				
	全体事業費(A+B)		5,553 千円		3,224 千円		7,864 千円					

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	貸付事業の償還事務であり、償還の約定期間中のため廃止できません。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	償還中の貸付事業のため事業は継続になります。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		目標設定に達していません。今後の徴収強化が必要です。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない	
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 概ね達成している	
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している			<input checked="" type="radio"/> 十分達成している	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	システム導入により管理コスト削減が見込めますが導入コストとの費用対効果は見込めません。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 1	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	死亡・病気・高齢・破産・行方不明等による長期滞納案件の対策が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	滞納者の状況把握に努め、貸付金の徴収事務の見直しをするとともに、回収方法について法的措置も含めた検討が必要になります。					一層の収納努力と事業内容の一層の把握と整理をしてください。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	6	基本事務事業名	男女共同参画推進事業	事務事業名	男女共同参画推進事務	公的関与	1	シート作成日	平成29年6月28日	
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	大塚 清		シート作成者名	小山 大介		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(2) 男女共同参画社会の形成				<input type="radio"/> 1 該当		平成 19 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
	主要施策		(2) 男女共同参画社会への意識改革の推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		男女共同参画社会基本法		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民、行政、企業、市民団体									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	広報・啓発活動や学校教育、生涯学習など様々な場を通じ、男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しや意識改革を推進し、男女共同参画社会の実現を図ることを目的とします。									
			今年度	男女共同参画社会実現へ向けて、さまざまな啓発活動を通じて意識改革を推進していきます。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 人権啓発・男女共同参画講演会の開催												
	② 広報紙での啓発活動												
	③												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
	「男女共同参画社会」という用語の周知度		阿波市男女共同参画基本計画(第2次)数値目標より		%	目標	95	95	95	100			
						実績		76					
	「男女雇用機会均等法」という用語の周知度		"		%	目標	95	95	95	100			
						実績							
	「DV」「デートDV」という用語の周知度		"		%	目標	95	95	95	100			
					実績								
DO	予算費目	会 計		款		項		目		備考			
			平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		平成27年度の事業のうち、人権啓発・男女共同参画講演会事業は天候不順につき中止しています。				
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	114 千円		385 千円		606 千円						
	計(A)		114 千円		385 千円		606 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	581 千円	0.100 人	582 千円	0.200 人	1,186 千円					
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		695 千円		967 千円		1,792 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価		
		1.	2.	3.	4.			男女共同参画意識の形成の促進を図るために必要な事業だと考えられます。						
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい								<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある								<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない									<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない									<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			男女共同参画意識の高揚を図るために有効な事業です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる	
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている			啓発の機会をより多く提供するなどして、男女共同参画社会に関する意識のさらなる高揚を図る必要があるかと思われませんが、現在の人員を鑑みるに、目標は概ね達成できていると考えます。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している			
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		より一層の男女共同参画意識の形成を促すためには、男女共同参画担当職員を配置するなど、人員の確保が必要と思われます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	A	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	A			
	当面の課題	男女が対等に社会参加し、共に役割や責任を分かち合える社会を築いていくための施策を推進するには、人員増などの環境・条件等の整備が必要と思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	第2次基本計画の方向性に沿った事業を今後も進めていきます。					現在実施されている関係部局との連携による開催方法が現地点では良いのではないのでしょうか。講師選択には市民ニーズや事業目的に十分配慮してください。							
委員会指摘事項														